

学校教育目標	「めざします! いきいきと楽しく笑顔あふれる学舎(まなびや)を!!」				
	○基礎・基本を確かに身につけ、主体的に考え行動し、課題を解決する力を育てます。(知) ○物事の善悪をきちんと判断し、お互いを尊重する豊かな心を育てます。(徳) ○自分や人の生命と体を大切にできる力を育てます。(体) ○社会の一員として求められる姿勢や資質を身につけ、グローバルな社会を生き抜く力を育てます。(公) ○様々な人とのコミュニケーションを通じ、持続可能な社会の実現に向けて、視野を広げられる力を育てます。(開)				
学校概要	創立 47 周年	学校長 羽田 敏隆	副校長 金田 貴子	2 学期制	一般学級: 9 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 274 人 主な関係校: みたけ台小学校 鉄小学校 県立あおば特別支援学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	みたけ台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<主体的に物事に取り組む力> <持続可能な社会を意識した行動> <コミュニケーション能力>	みたけ台中学校 鉄小学校 みたけ台小学校	社会を生き抜く力を育成するために、『自ら考え』『自ら学ぶ』能力を身につける子ども ----- ・9年間の子どもの成長を見通した小中連携を推進する。 ・子ども像を共有しながら、児童生徒理解を深めるための定期的な会合を設定する。 ・家庭や地域および関係機関との連携を推進し、児童生徒が社会を生き抜く力の育成を行う。

中期取組目標	○一人ひとりの子どもを大切に、主体的で深い学びができるようにします。 ・個に応じた指導を充実させるとともに、主体的に取り組む授業の実践を目指します。 ・健やかな体を持ち、豊かな心をもつ生徒を育てます。 ・地域の活動に積極的に参加し、地域とのつながりの中で自分の生き方を考えます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	・全職員が道徳科のみならず、各教科や様々な活動で「豊かな心」を育てる授業展開を行う。・授業の評価や工夫について、学習指導部、教育課程推進担当を中心に研修の実施や情報交換を行う。・指導主事による研修や、年次研の研究授業の機会を全体研修の場とし、学校全体の主体的な学びへの取組について共通理解を図る。 担当 学習指導部 ・ICTの活用について担当部署を中心に事例を集めたり、効果を検証したりし、より効果的なICT活用について推進する。
徳 道徳教育	・全職員が道徳科のみならず、各教科や様々な活動で「豊かな心」を育てる授業展開を行う。 ・道徳科の授業について授業を見学したり研修したりする機会をもつことで指導力の向上に務めたり、評価についての理解を深める。 担当 道徳推進担当
体 健康教育	・学校保健委員会を生徒の課題解決的な活動となるよう、テーマ設定や年間計画を工夫する。・体育健康プランに基づいて、基礎体力の維持、増進を目指し、体育の授業では運動量の確保と生徒の主体的な活動を保証した授業を行う。・消防署による心肺蘇生法の講習、学校薬剤師や外部講師による保健指導を積極的に取り入れ、生徒の保健分野への学びを深める。 担当 保健安全指導部・保健体育科
公 開 コミュニケーション能力の向上	・自分の考えや思いを豊かに表現するために、課題や目的意識を明確にした話し合い活動や発表を各授業に取り入れていく。また、異なる意見や互いの考えを認め合える学級の風土づくりに努める。 ・あいさつや場に応じた言葉遣いについて、日頃の生活の中で全職員が模範となり、また、指導する。 担当 学習指導部・特別活動指導部
いじめへの対応	・月一度の記名式アンケートの実施と気になる内容の共有を引き続き丁寧に行い、早期発見に努める。・3校と連携し、9年間を継続した指導や支援、職員の傾聴訓練を行う。・学校長からの講話や道徳、学年集会等でいじめについて生徒が考える機会を設ける。 担当 生徒指導部
人材育成・組織運営(働き方改革)	・年5～7回のメンター研、年次研の研究授業、各分掌でのOJT、自己観察書の面談等を通して、主体的に学ぶ教職員を育成する。・会議時間削減のため、会議終了時刻の設定、検討内容を明確にした提案資料作成に引き続き取り組む。 担当 管理職
キャリア教育	・各教科や領域の活動の中で地域社会の一員としての自らの役割を考える時間を設定する。・福祉体験、職業講話、職業体験などを通して、地域社会の方々の生き方に触れ、自分の生き方や将来について考える時間を充実させる。・自己理解を深め、適性を生かした進路選択ができるよう、進路主任を中心に3年間を見通した指導を行う。 担当 学習指導部・特別活動指導部
特別支援教育	・特別支援委員会の定期的な開催、SCの参加を通して、インクルーシブ教育や特別支援教室の運営のさらなる充実を図る。・特別支援教室のオンライン授業や個別の学習環境を整え、個々のニーズに沿った学習支援を行う。・作成した個別の指導計画の活用を図る。 担当 特別支援教育推進委員会
地域連携・学校運営協議会	・学校運営協議会、地区懇談会等を通して、学校教育への理解をいただくと共に、コロナ後の地域と連携した教育活動について検討を進める。・学校だよりやHPを通して、学校からの情報発信を積極的にすすめる。 担当 学校支援地域連携担当
担当	